

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131

FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

【討議資料】

宇田川よしひで

緑豊かな街づくり

市議会ニュース
vol.83(2020年3月)

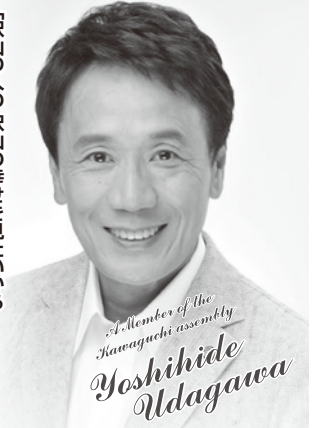
令和2年 第一回3月川口市議会定例会

(令和2年2月26日から3月25日までの29日間)

3月市議会は会期の前半の数日間で、令和元年度の補正予算を含む議案を審議し、残りの後半で令和2年度の当初予算を含む議案を審議する重要な議会でもあります。

令和元年度は3月31日までなので、一部の予算が来年度に繰越し措置が取られることになり、その使い道を明確にすることも大切です。また、令和2年度当初予算は市全体の1年間の事業・費用を決めることであり、その計画を基に行政運営されることとなります…

「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」



A Member of the Kanaguchi assembly
Yoshihide Udagawa

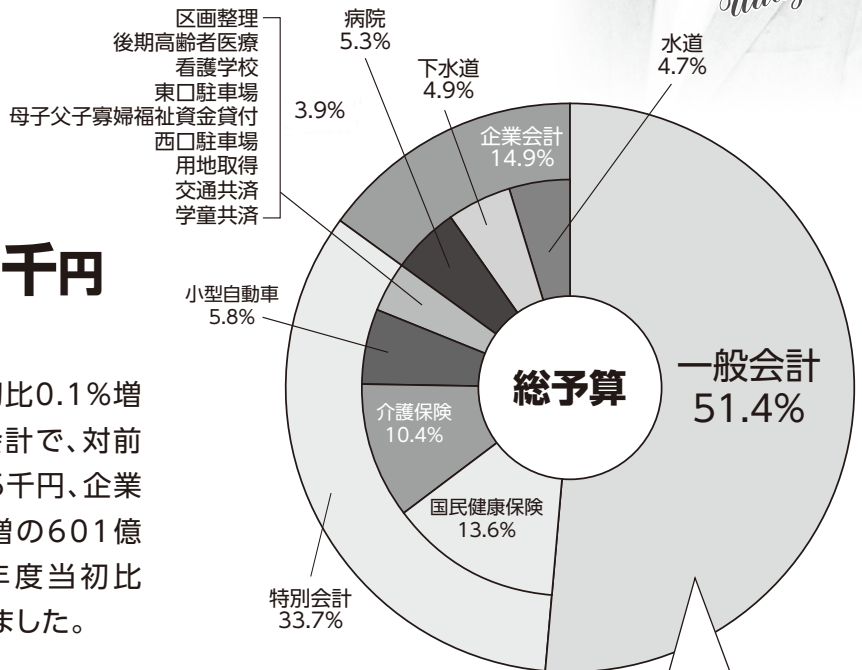
新年度予算

総予算

4,046億4,492万5千円

■財政規模

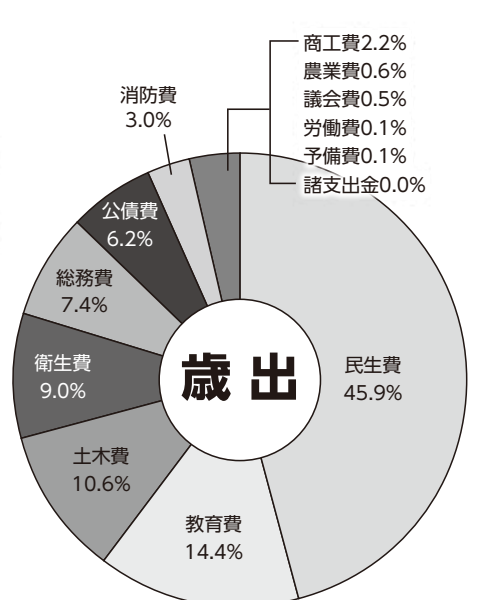
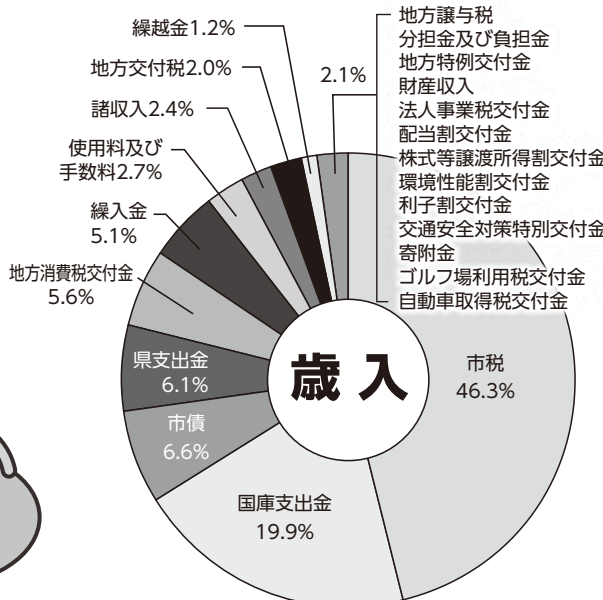
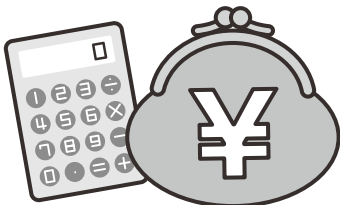
一般会計におきましては、対前年度当初比0.1%増の2,079億3,000万円、特別会計は12会計で、対前年度当初比3.4%増の1,365億5,792万5千円、企業会計は3会計で、対前年度当初比2.9%増の601億5,700万円となり、全会計では、対前年度当初比1.6%増の4,046億4,492万5千円となりました。



一般会計

歳入 歳出

2,079億
3,000万円
(前年度対比0.1%増)



■令和2年度 予算総括表

(単位:千円)

区分		令和2年度 A	令和元年度 B	比較 (A-B)C	増減率 C/B×100(%)	令和元年度 増減率(%)
一般会計		207,930,000	207,770,000	160,000	0.1	9.8
特別会計	国民健康保険	55,109,100	56,050,800	△ 941,700	△ 1.7	△ 3.9
	後期高齢者医療	7,105,400	6,642,400	463,000	7.0	3.3
	介護保険	41,906,000	38,897,100	3,008,900	7.7	5.4
	母子父子寡婦福祉資金貸付	75,700	58,800	16,900	28.7	△ 11.8
	小型自動車	23,684,700	22,047,300	1,637,400	7.4	0.4
	看護学校	251,900	310,800	△ 58,900	△ 19.0	0.7
	西口駐車場	64,000	65,000	△ 1,000	△ 1.5	10.2
	東口駐車場	167,000	168,000	△ 1,000	△ 0.6	1.8
	交通共済	40,000	40,300	△ 300	△ 0.7	△ 1.0
	学童共済	8,400	8,500	△ 100	△ 1.2	2.4
	区画整理	8,082,000	7,715,300	366,700	4.8	△ 0.9
	用地取得	63,725	64,271	△ 546	△ 0.8	△ 0.8
	計	136,557,925	132,068,571	4,489,354	3.4	△ 9.1
企業会計	水道	19,080,000	18,779,000	301,000	1.6	1.7
	下水道	19,909,000	19,004,000	905,000	4.8	皆増
	病院	21,168,000	20,659,000	509,000	2.5	0.8
	計	60,157,000	58,442,000	1,715,000	2.9	50.1
合計		404,644,925	398,280,571	6,364,354	1.6	6.6

予算編成方針

本市では様々な財政健全化に取組み、平成26年度以降、市税の徴収強化に取り組んだ結果、25年度の市税全体の収納率は90.6%であったが、30年度には96.6%と6.0ポイント向上し、市税収入額についても、25年度の約891億円から30年度の約963億円へと、年間ベースでも約72億円の増収をみたところです。

また、市有地の積極的な売却による財源の確保や、施設整備基金の活用により、市債の発行を抑制するなど、財政の健全化を強力に推し進めてきました。こうした取組みを通じて確保した財源を活用し、土地開発公社については、いわゆる、三セク債の発行のほか、土地の買い戻しをこれまで以上に推し進め、同公社の借入金残高は、24年度末の約460億円から、30年度末の約89億円と、令和4年度までの健全化目標である約97億円を大幅に下回り、6年間で371億円の大規模な圧縮を図った結果、今年度末には70億円台となる見込みです。また、一般会計、特別会計及び企業会計に、土地開発公社の借入金を加えた、市全体の借入金残高についても、24年度末の約2,790億円から30年度末の約2,621億円へと、6年間で約169億円の大規模削減を達成しました。

さらにこの間、本市において長年の課題とされていた全小中学校への空調設置や、県内初の公立夜間中学の開校、三大プロジェクトについても事業を順調に進捗させるなど、「川口の元気」を生み出す事業について、必要な施策には積極的に予算化を図るとともに、平成30年4月からは中核市に移行し、60万市民の目線に合った様々な行政サービスの実現を進め、更なる「選ばれるまち」づくりに取り組んでいるところです。

しかしながら、本市においても、他自治体同様、扶助費や公共施設の老朽化に伴う維持補修費などの経常経費の伸びにより、財政構造の弾力性が徐々に失われており、「選ばれるまち川口」実現のためには、市街地再開発事業・区画整理事業を進めることで将来的な税収入の増加を図るとともに、引き続き、市税等の徴収強化や効率的な予算編成と事業執行に取り組む必要があります。

このような財政状況の中、令和2年度の当初予算では、歳入見通しにおいて、市税は予算ベースで増額を見込むものの、歳出においては、川口市立高等学校アリーナ棟完成に向けた建設費増のほか、児童福祉や障害福祉をはじめとする扶助費等の義務的経費の増や、施設・設備の老朽化対策に係る維持経費等の増が見込まれますが、真に必要な事業については引き続き積極的に予算化を図るため、より緻密な積算に基づいた予算編成をおこないました。

令和2年度当初予算のポイント

歳入確保・健全財政と必要な事業量の確保の両立を目指した予算案

☆一般会計、特別会計、企業会計を合わせ、
過去最大規模となる、4,000億円超の積極予算

【令和元年度当初予算】	【令和2年度当初予算案】
3,983億円	4,046億円(+63億円)
一般会計 2,078億円	2,079億円 (+1億円)
特別会計 1,321億円	1,366億円 (+45億円)
企業会計 584億円	601億円 (+17億円)

健全な財政運営の確保

☆過去最高を更新し、市税収入を確保 令和2年度 963億円
(収納率) 97.1%

当初予算の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	879億円	903億円	914億円	917億円	943億円	953億円
収納率	89.4%	91.2%	92.3%	93.8%	95.3%	96.5%

引き続き収納率向上のための事業を実施
 ・納税コールセンターの拡充
 ・多言語対応のためのQRコードを活用
 ・インターネット口座照会を新たに実施 など

☆将来の実負担額の軽減

・市債については、交付税措置のある有利なものを活用
 ・土地開発公社借入残高の削減 令和元年度末 約69億円(平成30年度末89億円)

主要事業の概要 3大プロジェクト

3大プロジェクトの推進
R2年度予算額 61億円 (R1予算額 145億1千万円)

- 新庁舎建設事業** (R2予算額 4億円 / R1予算額 91億1千万円)
 (新庁舎建設課)
 2期棟及び立体駐車場の実施設計、現本庁舎の解体工事を実施
- 赤山歴史自然公園整備事業** (R2予算額 8億円 / R1予算額 25億2千万円)
 (赤山歴史自然公園整備室)
 令和4年度の全体オープンを目指し、公園整備を実施
- 市立高等学校建設事業** (R2予算額 49億円 / R1予算額 28億8千万円)
 (庶務課)
 アリーナ棟等建設工事、第2校地整備、旧川口高等学校解体工事等
 ※事業費には開設準備経費を含みます。

人々の元気「人を育み誰もが生き活きと活躍できるさらなる元気なまちへ」

1. 多文化共生推進事業 (協働推進課) R2予算額 2千5百万円

多文化交流・理解を促進し、多文化共生社会の推進を図る

【拡 充】

- ・翻訳機の導入
74言語対応のAIによる翻訳機を8台導入

【継 続】

- ・外国人法律相談
弁護士による通訳を介した法律相談を実施
- ・外国人生活入門ガイドブック
外国人向けに地域のルール・マナー、様々な制度等を多言語で記載した小冊子を作成
- ・多文化ふれあいフェスタ
食文化をはじめとする外国人の文化・習慣・国民性にふれあう機会を創出し、相互理解を促進
- ・テレビ電話等多言語通訳業務委託
携帯電話やタブレットを活用し、テレビ電話等で通訳することで、外国人への迅速な市民サービスを提供

人々の元気「人を育み誰もが生き活きと活躍できるさらなる元気なまちへ」

2. 子どもの発達相談・支援の充実 (子育て相談課) R2予算額 1億1千9百万円

【子ども発達相談センターの新設】

子どもの発達に関する相談が増加し、その内容も複雑化するなど、子どもの発達相談、支援に対する市民ニーズが高くなっていることから、新たに、ワンストップの相談窓口として「子ども発達相談センター」を設置し、相談・支援の充実を図る

開所日時 令和2年4月20日(月) (予定)

設置場所 青木3丁目

- 【新規】 ・市内全52小学校を対象とした一年生訪問事業
- 【拡充】 ・相談員の増員及び医師、臨床心理士等の専門相談等の回数の増
- ・親子教室・低年齢児クラスを4クラスから5クラスへの増 など

人々の元気「人を育み誰もが生き活きと活躍できるさらなる元気なまちへ」

3. 保育士賃金補助事業(継続) (保育入所課) R2予算額 2億1千3百万円

民間事業者と協力し保育士確保のための処遇改善策を実施

一人あたり上限を2.1万円とする補助金を支給(市は事業者拠出額の3倍を補助)

対象人数 1,700人(認可保育所・地域型保育事業所及び家庭保育室の常勤保育士)

例) 事業者:7,000円[1/4] + 市:21,000円[3/4]= 合計 28,000円

※事業者負担額は500円以上・500円単位で任意

最大で保育士一人当たり月額2.8万円の処遇改善が可能

4. 保育所におけるICTの導入(新規・継続) (保育運営課・保育入所課) R2予算額 1億円

保育所のICTの導入により保育士の業務負担軽減及び保育の質向上を図る

【導入内容】 保育計画・記録、園児の登降園管理等の機能を有するシステム

【新 規】 公設公営保育所

【継 続】 公設民営・民設民営保育所

※対象経費の3/4を補助 上限:1施設 75万円

人々の元気「人を育み誰もが生き活きと活躍できるさらなる元気なまちへ」

5. 保育所等の整備・運営(拡充)

(子ども総務課・保育運営課・保育入所課) R2予算額 150億3千3百万円

民間保育所・認定こども園の整備により待機児童対策を推進

【保育所等の定員数】 令和元年度 令和2年度

175箇所 10,453人 186箇所 11,209人(756人増)

6. 病児・病後児保育事業(拡充) (子ども育成課) R2予算額 4千5百万円

児童が病気・病気回復期であり、集団保育若しくは自宅での育児が困難な期間、一時的にその児童を預かり、病児・病後児保育を行う

令和元年度:2施設 → 令和2年度:3施設(予定)

7. 健康推進事業(拡充) (保健総務課) R2予算額 3百万円

「働き盛り世代」と「若い世代」を中心とした健康への関心を高めるため、スマートフォン用のアプリを活用し、歩いた歩数等により健康ポイントを付与するなど、健康作りへの動機付け及び意識の向上を図る

人々の元気「人を育み誰もが生き活きと活躍できるさらなる元気なまちへ」

8. 中高一貫校準備事業(継続) (庶務課・学務課) R2予算額 7千万円

令和3年4月の開校に向け、適性検査の実施、授業に必要な備品の購入及び教室の改修などを行う

【川口市立高等学校附属中学校概要】

開校日 令和3年4月1日

生徒数 1学年80人

9. 中学校体育館空調機設備事業(継続) (教育総務課) R2予算額 4千6百万円

夏季の部活動等での使用及び災害時の避難所としての使用の際の暑さ対策として、中学校(全26校)の体育館に令和4年度までに空調機を設置

【整備計画】

令和2年度から令和3年度 実施設計・工事 13校

令和3年度から令和4年度 実施設計・工事 13校

産業の元気「戦略的な産業振興によるさらなる元気なまちへ」

1. 市産品フェア事業(継続) (産業振興課) R2予算額 7千万円

製造業、緑化産業を中心とした市内製品や市内で営業するあらゆる業種のサービスなどを市内外の企業や市民等に広く周知し、地域経済の活性化を推進

開催日…令和2年11月(予定) 会場…SKIPシティ(予定)

2. 地域経済応援ポイント事業(継続) (産業振興課) R2予算額 4百万円

マイナンバーカードを活用し、市が指定する健康増進事業の参加者に対し付与するポイントやカード会社等のポイント・マイルを川口市ポイントに移行し、川口市内店舗で利用することでマイナンバーカードの普及及び市内の消費拡大を図る

くらしの元気「生涯をとおして安全・安心に暮らせるさらなる元気なまちへ」

1. 小児夜間等救急診療事業(拡充) (保健総務課) R2予算額 1億6千3百万円

【こども夜間救急診療所(一次救急)の新設】

小児夜間診療体制を見直し、年間を通して診療を行う拠点を整備し、準夜帯の子どもの一次救急診療をセンター化することにより、安全安心な子育て環境の充実及び、医療の質の確保を図る

設置場所 鳩ヶ谷庁舎別棟

開設年月日 令和2年4月1日

診療時間 平日 午後7時30分～午後11時

土日、祝日及び年末年始 午後5時30分～午後10時

【継続】3医療機関輪番制(二次救急含む)

診療時間 平日、土曜日 午後6時～翌日午前8時

日曜日、祝日及び年末年始 午後8時～翌日午前8時

※3医療機関…市立医療センター、済生会川口総合病院、埼玉協同病院

※3医療機関での一次救急対応は、こども夜間救急診療所の診療時間外

くらしの元気「生涯をととして安全・安心に暮らせるさらなる元気なまちへ」

2. 緩和ケア病棟の整備(新規) (医療センター管理課) R2予算額 1億1千万円

急性期治療におけるがん患者やその家族の様々な苦痛のケア体制の充実を図るため、一般病棟の一部を緩和ケア病棟に改修整備

【整備内容】

- ・個室18室(18ベッド)
※全室洗面台、ソファ等アメニティ設備有り、バス・トイレは一部
- ・多目的ホール、キッチン、介助浴室、患者用浴室、家族控入室(宿泊可)
家族用浴室、各種相談・面談室、カンファレンス室、ナースステーション など

3. 中学校防犯カメラ設置事業(新規) (教育総務課) R2予算額 8百万円

中学校(全26校)に防犯カメラを設置

地域の元気「各地域の歴史や地勢を活かすさらなる元気なまちへ」

2. 近未来技術等社会実装事業(継続) (都市交通対策室) R2予算額 1億3千2百万円

自動運転バスの実証走行等を実施し、地域活性化と公共交通の利便性の向上を図るとともに、人材育成等を行う

- ・SKIPシティ、SR鳩ヶ谷駅間で自動運転バスの実証走行
- ・大学、川口市立高等学校、科学館との連携による人材育成 など

3. NHK跡地整備事業(継続) (産業労働政策課) R2予算額 38億3千8百万円

SKIPシティ用地全体の総合的な利活用を推進

【整備計画】

令和2年度：SKIPシティ内の県所有地の購入 (用地購入費：37億9千3百万円)
令和3年度：NHKとの土地交換の実施
令和7年度：NHK施設運用開始

まちの元気「うるおいと賑わいのあるさらなる元気なまちへ」

1. 地籍調査事業(新規) (道路維持課) R2予算額 1億1千4百万円

道路、河川等の公共財産を適切に管理することを目的に、国土調査法に基づく地籍調査の一手法である官民境界等先行調査を実施し、街区単位で市が管理する道路などの境界を明確にする

【地籍調査事業全体計画】

調査期間 令和2年度から令和11年度
調査区域 市内全域(土地区画整理事業施工中区域等を除く) 49.63km²
総事業費 約66億円

2. 美術館建設等検討事業(継続) (文化推進室) R2予算額 1千5百万円

中核市にふさわしい文化の高揚を図るため、美術館建設に向けた検討を行う

- ・美術館建設基本計画の策定
- ・美術館建設を考える市民フォーラムの開催 など

地域の元気「各地域の歴史や地勢を活かすさらなる元気なまちへ」

4. 市街地再開発事業等への支援(新規・継続) (都市整備管理課) R2予算額 4億7千5百万円

土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新

- ①川口本町4丁目9番地区第一種市街地再開発事業 【新規】 <事業完了予定>
7千7百万円 R7年度
- ②川口栄町3丁目銀座地区第一種市街地再開発事業 【継続】
2億6千1百万円 R5年度
- ③川口本町4丁目8番地区優良建築物等整備事業 【継続】
1億3千7百万円 R2年度

5. 生物多様性保全事業(拡充) (自然保護対策室) R2予算額 1千2百万円

- ・市内の動植物の生態系調査を実施【新規】
- ・小中学生に「川口いきもの通信」を配布するなど、生物多様性の周知啓発を実施

まちの元気「うるおいと賑わいのあるさらなる元気なまちへ」

3. 区画整理事業及び住宅市街地総合整備事業の促進(継続) (各区画整理事務所、市街地整備室、区画整理課、都市整備管理課)

R2予算額	土地区画整理事業(一般・特別会計)	総額 66億5千万円
	住宅市街地総合整備事業(一般)	総額 3億1千万円
	計	69億6千万円
	(R1年度)	67億円

4. 中学校夜間学級関連事業(継続) (庶務課・学務課・学校保健課・教育総務課) R2予算額 8億4千7百万円

中学校夜間学級の運営及び新校舎(旧芝園小学校敷地内)の建設を行う
・中学校夜間学級新校舎建設費 8億9百万円 (R1年度 3億4千5百万円)

5. オリンピック・パラリンピックに関する事業(新規・継続) (政策審議室・文化推進室・スポーツ課・指導課) R2予算額 6千7百万円

- ①オリンピック聖火リレーの企画運営
- ②パブリックビューイング及び企画展の開催
- ③機運醸成のための市民が参加できるイベントの実施 など

主要な社会資本・公共施設の整備

1. 災害に備えたインフラ整備

- ・河川・水路緊急浚渫事業 2億円【新規】
- ・雨水流出抑制対策事業 1億2千万円【新規】
(柳崎公園・柳根町公園に雨水貯留施設の設置)
- ・河川水位計設置工事 2千万円(10箇所)
- ・江川第3調節池整備事業 5億5千万円(令和2年度：用地購入 令和7年度完了予定)
- ・前野宿川改修事業 7千万円(前野宿川調節池上流部の改修 令和6年度完了予定)
- ・東川口駅周辺浸水対策事業 13億4千万円(令和5年度完了予定)
- ・幸町小学校雨水調整池整備事業 1億9千万円(令和4年度完了予定)
- ・沼田公園整備事業 2億2千万円(防災公園として整備 令和4年度完了予定)
- ・防災井戸設置工事 2千万円(十二月田中学校・上青木小学校) など

主要な社会資本・公共施設の整備

2. 主な大規模修繕・改修・改築事業

- ・川口駅西口ベデストリアンデッキ上屋設置工事 2億7千万円
- ・青木会館改築事業 3億7千万円(令和2年度：設計・解体工事 令和4年度完了予定)
- ・鳩ヶ谷公民館改築事業 8千万円(令和2年度：設計 令和4年度完了予定)
- ・領家公民館改築事業 3億9千万円
- ・領家保育所改築事業 2億5千万円(領家保育所と合築)
- ・仲町保育所(仮称横管根保育所)改築事業 2億2千万円(令和3年度完了予定)
- ・前川図書館改築事業 9億5千万円
- ・市営前川住宅建替事業(2期工事) 11億4千万円(前川図書館と合築)
- ・小中学校施設の維持補修・整備 20億9千万円
- ・総合文化センター(リリア)改修工事 1億4千万円
(防水工事、音楽ホールワイヤレスシステム改修工事ほか) など

地域の元気「各地域の歴史や地勢を活かすさらなる元気なまちへ」

1. グリーンセンター再整備事業(継続) (グリーンセンター) R2予算額 3億1千5百万円

老朽化した園内施設等の改修に併せ、北エリアの一部においてフィールドアスレチック遊具の整備や、防災機能の強化を図るための整備工事を行い、市民へのサービス及び安全性の向上を図る

【事業概要】

工事箇所 ツツジ山、モデル庭園、北側斜面地等 22,000m²
工事概要 アスレチック遊具設置、昆虫体験コーナー設置、園路広場整備、芝生樹林地整備、電気・給排水設備改修等
供用開始 令和4年3月(予定)
事業費総額 11億9千6百万円
(継続費) 令和元年度 3億6千9百万円
令和2年度 2億5千1百万円
令和3年度 5億7千6百万円